

いくぞう 通信

議会レポート

No.35号

2022年12月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
TEL・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

12月議会は11月25日から12月14日までの20日間開催。令和4年度補正予算6件、条例制定1件、条例一部改正7件、工事請負4件、財産の取得、処分各1件、指定管理者の指定3件、人権擁護委員1名を同意し閉会した。詳しくは議会広報等をご覧ください。

① とちぎクリーンプラザ(清掃工場)入札・・

1社のみで99.99%の落札率、

これでは競争性、経済性は比較できない

総額258億5100万円

内訳設備改良 79億6500万円 3年の工事期間

業務委託178億8600万円 15年間の管理委託料



② 第2次栃木市総合計画・・国の言いなりの計画案で、独自性なし

③ サッカー専門学校・・令和5年4月開校は、絶望的です

学校開校は、いよいよ瀬戸際に追い込まれた。市はその実態を明らかにしていないが、「これから応募する学生の募集に影響が出るから発表できない」と言う。今から学生を集めてどんな準備ができるというのだ。

令和5年4月から始まる時に何を考えているのか。貴重な財産を有効に使うことが出来なければ、地域発展はない。無償譲渡までして開校ができないことになれば、約束通り市に返さなければならぬことは当然である。

質問 1、クリーンプラザの契約について

ほぼ100%の落札で、競争性は有りません！

設備改良工事費と委託料→エクシオグループ(株)が契約

258億5100万円で議決・・・反対議員 針谷・内海・白石・大谷

針谷「2期目の請負契約は70%でエクシオグループと契約した。今回はどうなったのか」

瀬下生活環境部長「エクシオグループのみの入札で、99.99%で落札した」

針谷「この入札は始めから一社しかなく、競争性も、透明性も無いのではないか。どう市民に説明するのか」

生活環境部長「エクシオの見積とコンサルタントの意見を参考にして予定価格を決めた。その範囲の入札で有り、審査委員5名の審査の結果、最優秀提案者として決定した」

針谷「数社の競争の中から選ばれたのなら最優秀は分かるが、1社では競争性はなく、最優秀者とは理解できない」

生活環境部長「予定価格の範囲内と審査委員の決定で最優秀者とした」

針谷「世間常識では全く理解できない結果で、認められない。今回の工事は施設の改良工事と管理委託契約を分けて入札すべきだった。」

生活環境部長「ごみを燃やしながらの工事なので、一社入札の契約でも、問題はない」

2つに分けての発注なら、競争性、透明性も、確保できたのではないか？

この意見は前からあったが、市は聞き入れず、1社に決めた・・・なぜ、なぜ？

市民への説明責任はどうするのか？

広くホームページ、広報等で知らせていく…市民の納得は得られるのか？

質問 2、仮称第2次栃木市総合計画について

この計画は令和5年から14年まで10年間の栃木市の方向を決めるものです。特に環境問題ではSDGs、

脱炭素社会の実現が書き込まれていることが特徴になっている。

脱炭素で地球の温暖化は克服できるのか？

針谷「温暖化の原因はCO2なのか？その根拠は、何か？」

瀬下生活環境部長「地球は周期的に寒冷期と温暖期を繰り返して、今がある」

針谷「藤岡にある篠山貝塚は、縄文時代・約5～6000年前が海だったことを証明している。**CO2**が人間生活で、ほとんど出されない時代のことである。なぜ今の海岸線から70キロKmも内陸に貝塚がある。何故か、の答えは温暖化のためである。温暖化は全国各地でみられる。これは縄文海進と言われ、全国でも平野部が海だったことは証明されている。**CO2が原因の温暖化では全く証明できない**」
生活環境部長「歴史的にはそうだと考えられる……」

針谷「温暖化と寒冷期を繰り返してきたのが地球の歴史です。今、取ってつけたように**CO2犯人説が国連始め、IPCC**(国連気候変動に関する政府間パネル)などが、グレタトンベリさんなどの若い人たちを巻き込み世界的な運動をしている。**IPCCが2009年グレイメートゲート事件で、世界の気温データを捏造したことが分かったが、世界で日本だけ報道されなかった**」…
CO2を吐き出す人と動物、そのCO2を酸素に替える植物たち。これが動物と植物の共存関係です。ともにいかされている」

SDGsは、どれも反対できないものです

…これを自治体でどう解決・実現するのが、問題です

針谷「**SDGsの17項目は何か?**」

癸生川総合政策部長「貧困をなす。すべての人に健康と福祉を、質の高い教育をみんなに、ジェンダー平等、平和と公正をすべての人になど17項目を目標に置いている」

針谷「どれも反対できないものであり、どう実現するのか」

総合政策部長「だれ一人取り残さないことが重要である」

総合政策部長「解決困難なものもあるが着実に前期計画では進めたい」

よく・考えてみよう！今何が起きようとしているのか

国連を中心に2酸化炭素温暖化説がその原因や科学的知見も乏しい中で進められている。**気象正義**などという言葉まで飛び出し、それに疑問を言えば、肩身が狭いような雰囲気を作られている。何となく戦争前のことと結びついてしまう。

ドイツの元帥ヘルマン・ゲーリッグが言っている。世界中で誰も戦争を望みませんが、戦争政策を決めるのは指導者です。それに従わせるには簡単なことです。国民に向かって、「われわれは攻撃されようとしているのだと煽り、平和主義者には愛国心が欠けていて、国を危険にさらしている」、と非

難すればよいのです。この方法はどんな国でもうまくいきますよ。台湾有事に備え防衛費を5年間で43兆円に増やして敵基地を攻撃する準備と、岸田総理が叫んでいる。その負担は国民に襲い掛かってくる。経産省は電力危機に対応するには原発の60年稼働と建て替えを打ち出した。どちらも火事場泥棒である。こんなことよりも国民生活を守るべきである。自衛隊は国民を守りません。自衛隊法3条では「国を守る」と明記され、国民は守りません。守るのは警察と消防と言ってはばからない。ダメされてはいけません。…これほんとのことです。

質問 3 サッカー専門学校の開校見通しについて



専門学校の4月開校は絶望的…学生が集まらない？

「栃木シティー無念・全国リーグ決勝で敗れる」

JFL昇格逃す・決定力不足浮き彫り…下野新聞…報道

針谷「10月末日の学生応募状況は分かりますか」

癸生川総合政策部長「わかりません」

針谷「どういうことですか？」

総合政策部長「シティーからは何も明らかにされていないので」

針谷「なぜ聞かないのですか」

総合政策部長「人数を明らかにすると今後の応募に影響が出るから言えないと聞いています。」

針谷「今12月です。来年の4月には開

校予定でしょう。学生を今から募集するなどでは、開校は絶望的です。学校開校には多くの準備が必要だが、それも出来ないとは、呆れてしまう。宿舎はどうなのか。校長人事はどうか」

総合政策部長「宿舎は不動産業者にお願いしている。校長は決まったが、辞令は出てないようだ」

針谷「何も決まってないことではないか。学生のいない学校はあり得ない」

校舎など無償譲渡して、開校出来なければ市長の責任は重大

市長…「順調に開校できることを願っている」…他人事でどこ吹く風？

市長がこれでは・栃木市は良くなならない・呆れて何も言いたくないが！

…追及発言はやめない…それが議会と議員の仕事ですから

知っていますか子供が生きるもう一つの家

県立栃木特別支援学校寄宿舎存続の陳情を採択

支援学校は市内皆川にあり30人の子供が寄宿舎を利用している。県は5年3月で閉鎖を保護者に告げた。「納得できない」と市議会に陳情書が出され、産業教育常任委員会で保護者、県教委との事情聴取、面談をした。その結果存続する陳情書採択が決まり、12月14の本会議で全会一致採択し、意見書を知事と県教委に送った。今回は教育の原点とは何かを勉強した。久々に市議会の存在価値を市民に示すと共に、議会の団結を味わい嬉しかった。今後もいろいろな思惑で動くので

なく、市民に寄り添うことの清々しさを味わいたい。一方県議会は無責任にも不採択と、切り捨てた。責任は重大である。なぜなら教育基本法第4条（教育の機会均等）第2項で国及び地方公共団体は、障害のあるものが、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な支援を講じなければならない、と定められている。県議会はこれを理解してないのか、不勉強である。県民の利益を守るのが議員の仕事である。情けない。